

# ④ シュンペータの経済学

2021.09.18  
2018.08.07

要 約

備 考

## 1. シュンペータとイノベーション

- (1) 自らの力で発展の原動力をさがす
- (2) 経済的な停滞感からの脱却
- (3) 1883年、シュンペータとケインズ  
が生まれ、マックスが死亡した  
↓
- (4) 世界一の経済学者への道
- (5) 大学教授、大蔵大臣、銀行頭取
- (6) 1950年 66歳で死亡

## 2. シュンペータの主要著作

- (1) 理論経済学の本質と主要内容
- (2) 経済学発展の理論
- (3) 学説と方法史の諸時代
- (4) 景気循環論
- (5) 資本主義・社会主義・民主主義
- (6) 経済分析の歴史

---

3. シュンペータの経済学とイノベーション

- (1) 景気循環論
- (2) 資本主義衰退論
- (3) 新結合 (イノベーション) が経済発展の  
主要国、
- (4) 伝統的な経済理論は、資源、人口、材  
木、社会組織などの外部要因が経済発展  
を決めるとしていた   
(シュンペータは、これらを静態的過程とした)
- (5) 動態的過程  
駅馬車をいくつ生産しても汽車にはならない
- (6) 発展は連続的なものではなく、軌道の変  
更である
- (7) 非連続発展こそ経済の本質
- (8) イノベーションから資本主義衰退論へ



#### 4. 経済発展の原動力

- (1) イノベーション
- (2) 銀行家
- (3) 企業者

#### 5. 景気循環の主要因

- (1) イノベーション
- (2) 企業者の弱体化が経済発展の停滞を引き起こす

#### 6. 動態論

- (1) 1期の B/S は静態的(ある一時点)
- (2) 複数期の B/S は連続的(時系列の変化)
- (3) 静態論は経済が同じ規模で動いていると見る

## 7. 新結合とは何か

- (1) 新結合とは生産である  
身の回りに存在する物や力を結合することによって何かを生産する
- (2) 物や力を新しいやり方で結合すること
- (3) 経済発展の原動力
- (4) 結合 —— 生産  
新結合 —— 従来にないもの  
" —— イノベーション
- (5) 新結合の遂行  
企業者と銀行家

## 8. 企業者

- (1) 斬新なアイデアをひっさげ、自ら率先して新結合を遂行する張本人
- (2) 企業者≡起業家
- (3) 企業者は生産手段を所有していない
- (4) 銀行家(資本を提供する)  
企業者と生産手段を仲介する

## 9. シュンペータ理論の3要素

- (1) 経済発展の原動力としてのイノベーション
- (2) イノベーションを担う企業者
- (3) 企業者と生産手段を結びつける銀行家

## 10. 企業者とは何か

- (1) 全く新しいことを行う
- (2) 今までのことを新しい方法で実現する
- (3) 土地、労働、資本等を単に結合するだけのものではない
- (4) 新結合の遂行を自らの機能として遂行する経済主体

## 11. 企業者と起業家

## 12. 企業者がイノベーションを目指す理由

- (1) 私的帝国への意志
- (2) 勝利者意志
- (3) 創造の喜び

### 13. 企業者に求められる資質

- (1) 洞察と精神的自由
- (2) 本質的なものの採用と非本質的なものの排除
- (3) 精神的自由
- (4) 抵抗に打ち勝つ強い意志
- (5) 粘り強さ、忍耐
- (6) 企業家は循環的なレベルになると創造性を喪失する

### 14. 銀行家の役割

- (1) 企業家が生産手段を得るための資金の提供
- (2) シュンペータは銀行家の役割を高く評価
- (3) 信用とは購買力の創造
- (4) 交換経済の監督者

## 15. 経済の低迷と企業者不足

- (1) 経済発展の原動力はイノベーション
- (2) その実現の主役は企業者
- (3) 企業家 渋沢栄一待望論

## 16. 新結合の5つのパターン

### パターン① 新しい財貨の生産

フィルム式カメラのコダック  
グーグルの検索連動型広告

### パターン② 新しい生産方法の開発

スーパーマーケット方式のトヨタの在庫

### パターン③ 新しい販路(市場)の開拓

任天堂のゲーム&ウォッチ

### パターン④ 原料や半製品に関する新しい供給源の獲得

よくくつつくが、すぐはがれるポストイット

### パターン⑤ 新しい組織の実現

デジの BTO、注文生産方式

↓

## 17. イノベーションが困難な理論 由

- (1) 前例のない事(不確実性)への取組
- (2) 古い考え方や習慣という障壁

## 18. 既存の要素の新しい組合せ

- (1) ジョームス・W・ヤングイ(アイディアの作り方)
- (2) 特定の目的に生かす

## 19. シュンペータの景気循環論

- (1) イノベーションがその主原因となる
- (2) 不況は、経済が新しい体系に調整される  
時点で発生する

## 20. 景気循環の基本メカニズム (第一波動)

- (1) 最初、経済は均衡状態の近傍にある(均衡状態)
- (2) 先ず、イノベーション(新結合)により景気上昇が起り、企業者が次々と模倣する(好況、)
- (3) その後に、調整による景気後退が起きる(不況、)
- (4) 最後に、均衡状態に戻る (均衡状態)

## 21. 景気循環 (第 2 波動)

- (1) 均衡状態
- (2) イノベーション、このとき周囲が過度な期待をふくらませる
- (3) 大きな利潤を見込める新投資機会であるかのような錯覚が起こり、景気は過熱する
- (4) 反動、後退局面(後退)、過熱に対する失望や悲観から、異常整理(不況)となる
- (5) 回復

## 22. 複数同時波動

- (1) 第1波動、第2波動が多数起こり、複数の波動が同時に存在する。
- (2) 3つの波動が複数同時に現れ、互いに影響し社会全体の景気を形作る
- (3) 景気循環パターン
  - ①コンドラチェフ循環 (周期約 50 年)
  - ②ジュグラー循環 (周期 7～10 年)
  - ③キッチン循環 (周期 40 カ月)

## 23. コンドラチェフ循環

- (1) 産業革命
 

1787～1800	(好況)
1801～1813	(景気後退)
1814～1827	(不況)
- (2) 鉄道の誕生
 

1828～1842	(景気回復)
1843～1897	(第2コンドラチェフ)
- (3) 新重商主義、電気、自動車
 

1897～1930 年半ば	(第3コンドラチェフ)
---------------	-------------

## 24. ジュグラー循環

- (1) 7～10年、中期波動
- (2) 結婚率や死亡率の循環変動
- (3) 銀行の利子率や価格の変化
- (4) 設備投資循環
- (5) 1つのコンドラチェフ循環の中の6つのシュグラー循環

## 25. キッチン循環

- (1) ジョセフ・キッチンが主流
- (2) 周期は40カ月
- (3) 1890～1900の　　の月ごとの手形決済額、物価、利子率などの分析
- (4) 在庫循環ともいう

## 26. 世界大恐慌

3つの波動が同時に下降局面に陥った

## 27. シュンペータとケインズ

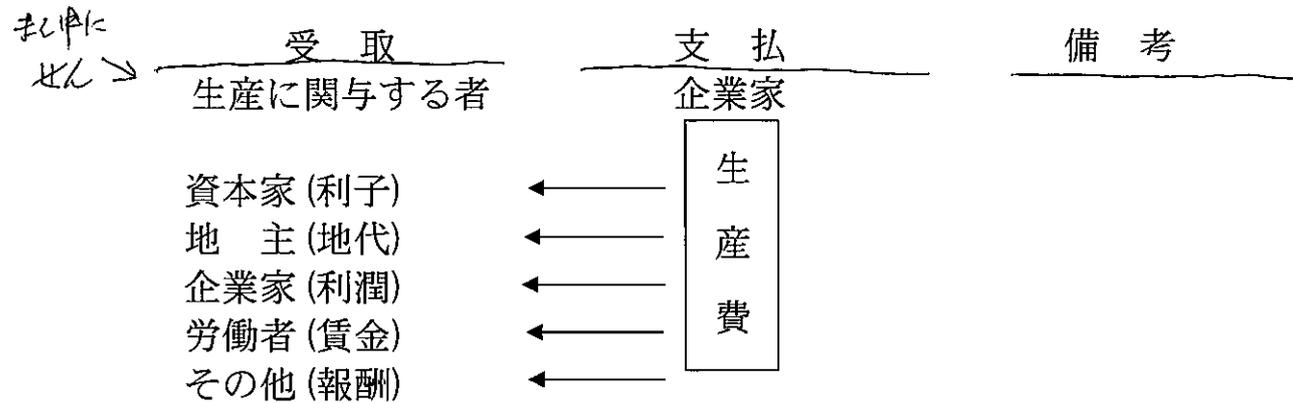
1. シュンペータは、不況は景気循環の中で不可避とする不況に対する具体策を欠いていた
2. ケインズは不況の主要因を有効需要不足に求め、その対策として政府の投資を増やすことを提言した
3. 有効需要とは、一国の消費と投資の和である  
一国の労働供給量が、有効需要と均衡していれば失業は発生しない
4. 一般的には、一国の労働供給量よりも有効需要の方が小さくなる傾向になり、この差は非自発的失業を生む
5. これに対し、ケインズは好況事業の推進を提唱した

# 1. ケインズは一つの時代を画した

2019. 9. 18

2018.08.05

## (1) 全体の理解



貨幣所得の全体  
 ⑤  
 投資財の生産によって得られるもの

生産費の全体  
 E

○

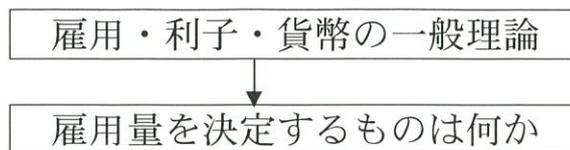
①

≡ 新たな投資の生産費

→ (E - i)

= 投資 i 以外の生産費  
 消費財生産費

貨幣所得  
 ⑤から消費支出 S  
 を差引いたもの  
 消費財の生産高  
 $R = O - S$   
 S P=消費財の平均  
 価格  $O = P \times R$



慢性的な失業とその背景にある不況のメカニズムの解明  
そして、適切な雇用量を確保するための政策



ケインズ	——	<u>不況の要因を需要不足に求めた ダイヤモンドサイド経済学</u>
従来の経済学	——	不況の要因を供給不足に求めた サプライサイド経済学

(2) 全体の要素 向をあけず 数字消費財の  
購入  $\checkmark E - S$ 消費財の  
生産高  $R$ 消費財の  
平均価格  $P$ 消費財  
生産者の売上  $R \times R$ 従って  $E - S = P \times R$ 支出の面  
生産者  $\checkmark E - i$ 収入の面  
消費財の購入  $E - S$ 

~~新たに消費財の~~  
 消費の生産者

ん

$S$ と $i$ とがイコールであれば企業家  
 が生産費として支出したのと同額  
 が、消費財の売却によって回収さ  
 れ、企業家にとっては利潤も損失も  
 生じない。(均衡状態)

(3) ケインズは景気を貯蓄  $S$  と投資  $I$  の関係で説明した

$$S = I$$

スミスの場合  
(均衡するとした)

$S$  大なら不況  
 $S$  小なら好況

ホブソンの場合  
( $S$  に着目した)

$S > I$  不況  
 $S < I$  好況

ケインズの場合  
( $S$  と  $I$  を比較した)

↓  
( $E - S$ ) が大なら不況から脱するとした

$E$  全生産の総  
費

## (4) ケインズ以前と以後

前

失業は一時的な問題で好況になれば消滅し、根本的な問題とされていなかった。

失業の論理はなかった

— 第一次大戦 —  
後

ヒンズキ、

戦後の世界不況(失業)はいつまで経っても回復の兆候すら見えなかった

ケインズの問題提起

ケインズは、過少雇用の状態を一般的な場合として、それを理論の対象とすることで、失われた理論の実践性を回復しようとした

## 2. 一般理論のあらまし

### (1) 雇用の決定

雇用 企業家が利潤を最大にしようと予想する点に雇用は決まる

企業家の予想収入 (1)その雇用水準で社会が消費に費やすであろう額( $d_1$ )  
(2)社会が投資に充てるであろうと予想される額( $d_2$ )

社会全体の有効需要  $D = d_1 + d_2$

消費性向  
(消費に対して社会(人々)が抱く心理的な傾向)

所得は雇用の量に依存する

## (2) 資本の限界効率と利子率との関係

所得の増加率  $K$ 限界消費性向  $C$ 

$$C = 1 - \frac{I}{K}$$

所得の増加の  $\frac{9}{10}$  が消費される場合

$$C = 1 - \frac{I}{K} = \frac{9}{10}$$

$$K = 10$$

政府が公共事業を起こし、先ず、万人の人々に職を与え、社会の限界消費性向が  $\frac{1}{3}$  の場合

$$K = \frac{1}{(1-C)} = \frac{1}{(1-\frac{1}{3})} = \frac{3}{2} = 1.5$$

となつて、雇用量は 1.5 倍となる → 1 万 5000 人の失業者が雇われる

消費性向が  $\frac{2}{3}$  の場合 3 万人雇用、消費性向が  $\frac{9}{10}$  の場合 10 万人の雇用

しかし、 $K$  が 1 の場合

$$C = 1 - \frac{I}{K} = 0 \longrightarrow \text{投資分しか増加しない}$$

または、 $K$  が縮小の場合

$$C = 1 - \frac{I}{K} = 1 \longrightarrow \text{無限に増加する}$$

(3) 乗数の理論は、国民経済の総過程を包摂できるほどの理論構造を持っている。

ケインズは、乗数理論において、個人的な域を脱して、社会関係としての投資を貯蓄に着目したことから個人的な  $S = I$  の問題は解決された

我が国の戦中の貯蓄奨励→デフレにならないか  
戦争投資との関係

利子率  
(借入利率)

投資の限界効率  
(営業利益率)

(4) 今、沖縄の投資があるということは

本土における投資物件がない、しかし資本はある、だから沖縄へ向かっている

また、沖縄の投資市場は限度がある

↓  
又は、投資効率が低くなる

↓  
沖縄へ向かっているものに底がつく  
又は、投資効率が本土化される  
将来を考えることも必要である  
時間的なズレではないか

しかし、本土にもないことがはっきりすれば、過剰資本である。  
そうすれば来なくなる

②

## (5) ケインズの理論

- 1、完全雇用の前提の排除
- 2、将来に対する予想の実物経済の重視  
生産、貯蓄・・・・
- 3、全体の量を問題にした相対的な分析の排除

## (6) 有効需要不足

有効需要が不足する理由

流動性選好から消費拡大へ

投資+消費

消費拡大策

投資乗数効果

公共工事は必要なのか

政府による投資

公共事業

## 著作

1923年 貨幣改革論  
(40才)

1930年 貨幣論  
(47才)

1936年 一般理論  
(58才) (世界で始めてマクロ経済を体系づけた作品)

一般論における分析の目的は「雇用量を決定するものは何かを発見すること」にあった。

ケインズの問題意識は、なぜ失業が発生し、不況が長引くのかという1930年代の課題であった。

従来の経済理論では、需要と供給が自然に調整され、失業は解決し、不況の雲散する・・・とされていた。

(1) 有効需要不足による不況の発生

(2) その背景には人々が貨幣の保有を望む<sup>動</sup>流行性選好がある

## トインビー 歴史の研究⑤

(312~361)

2021.09.27  
2021.09.13

項 目	内 容	備 考
第五篇 第3章 魂の分裂 (312-	<p><b>1. 内面的、精神的な魂の分裂</b>            社会全体の分裂は、表面的に見える。            しかし、その意義は、<u>内面的かつ精神的な裂け目</u>の、<u>外面的な目に見える徴候</u>である。<u>その底には必ず人間の魂の分裂が見い出される</u>。            能動的、受動的、いづれにせよ創造的でない二つの極に分かれる。</p>	
第4章 解体期の社会と 個人との関係 (328-	<p><b>2. ミメシス(模倣)の能力</b>  <u>天才的な少数の創造的人格と、多数の機械的な大衆の結合が新しい社会を形成する</u>。            しかし、成長から解体への変化にともなって、創造の火種は消え、創造的少数者は、もはや創造力を失って、支配的少数者に変貌する。</p>	
第5章 解体のリズム (330-	<p><b>3. 成長のリズムと解体のリズム</b>            成長した社会に衰退が起こると、それに対抗するために二度目の挑戦があり、それが成功すれば、ふたたび成長が開始される。この衰退と応戦がくり返されるが、応戦の失敗が最終的なものになると、その社会は滅亡する。<u>第二次世界大戦の終わりに原子力の解放を見たとき、われわれの将来に対する暗い疑念がわき起こる</u>。</p>	
	<p><b>四大文明と死後の世界</b></p>	
	<p>(1)中国            人間の生命は天地から与えられたものである。            人間は死んだとき、二つのたましいは、「魂」は天に帰り、「魄」は地下に帰る。「魄」は肉体に残り、地下の世界に住む。それが墓である。死者は現世と同じ生活をするが、地上に出るときは廟に出て来て人間と会う。</p>	

## (2)エジプト

現世はあくまでも来世のための準備の世界である。四二の罪を犯していないことが証明されれば、あの世への鍵をもってあの世へ入る。

あの世では、神様と一緒に住み、年に1回、この世に戻ってきて、ミイラと精霊と合体し、自分の子孫と出会う。

ナイル川をはさんで、あちらがあの世で、こちらがこの世である。死ぬために現世で何をするかという、1番最初にまずお墓を確保する。そして、死ぬとミイラ(体)と精霊と魂に分ける。魂はあの世へ行って精霊とミイラはこの世に残る。年に一度、魂はミイラに戻り、精霊もミイラと一体化する。だから死者は永遠である。

## (3)メソポタミア

墓がない。天国へ行くとか、地獄に行くとかということはない。死は宿命であり、だから現世を楽しむのであって、死後の世界がどうのこうのというのではない。人間は死んで終わり、泥に戻る。

## (4)インダス

人生は一回で、あとはインダス河に流すような感じ。

## (5)文明とは何か

文明は一人の特権階級のものか。99%は捨てられている。文字というのは、あくまで支配している人たちの限られた道具、支配者は住民は殺さない。多数の住民をどう合理的に支配するかを考える。侵入破壊者など居ない。

土地にくっついた農民は、征服者にとっては大事な財産。文明とは1%の表現である。だから文明の滅亡は何か。

(大河文明)

項 目	内 容	備 考
第六編 世界国家 (344～	<p>1. 世界国家と不死の幻影</p> <p>(1)世界国家は、衰退した文明の社会体に政治的統一を与えたものである。それは、本物の夏ではなく、秋を覆い隠し、冬を予告する小春日和である。</p> <p>(2)それは、創造力を失ったかつての創造的少数者の消極的所産である。</p> <p>(3)それは、解体の過程における一つの立ち直りである。</p> <p>(4)社会解体過程の一つの局面であり、老人の頑固な寿命である。</p>	
第3章 だれのために (353～	<p>世界国家は一夜の宿であり、「約束の地」ではない。しかし、長い間逃げどおしで立ち止まる余裕のなかった動乱時代の敗走からの立ち直りであるから人々の感情を虜にする。</p>	

2

# トインビー 歴史の研究⑥

(362 ~ 389)

202/07.12

項目	内容	備考
第七篇 世界教会 (362-)	<p><b>1. 癌としての教会</b></p> <p>世界国家衰退の中で、最大の利益を受け、成長していくのが世界教会である。</p> <p>ギリシア・ローマ社会は、個人と市民の社会への従属の思想の上に築かれていた。</p> <p>国家全体の安全ということを行為の最高目標とし、現世であろうと来世であろうと個人を超えるものであった。</p> <p>東方宗教の普及は、国家の繁栄を超えて、魂の永遠の救済こそ人の唯一の目的とした。現世と地上を軽蔑し、天上の神の都を最高のものとした本来の生活と行為の理想は失われた。</p>	<p>ローマ帝国の衰退とキリスト教の隆盛</p> <p>個人 &lt; 市民 &lt; 国家 (社会)</p> <p>個人 &lt; 社会</p> <p>社会 &lt; 天の神 (国家) (癌化)</p> <p>個人 &lt; 社会</p>
第2章 さなぎとしての教会 (369-)	<p>いかに癌!!</p> <p>(12-1) 成功した組織</p> <p>社会</p> <p>個人</p> <p>支える組織</p> <p>癌的存続の</p>	
	<p><b>(序品第一)</b></p> <p>仏は無量義の教えを説いた後、諸法実相の真理に全精神を集中する三昧におはいりになった。</p> <p>「諸行無常」の意味は、この世のあらゆる現象、諸行は、常でない、いつでも同じではなく、常に変化する。この真実をはっきりと認識する必要がある。</p> <p>また、この世のすべてのものごとは、必ず誰かのものとなつてつながりがある、孤立したものはない。「諸法無我」とはその網の目のようなつながりをいう。</p> <p>「諸法無我」を悟れば、どうして対立や争いが生じ、奪いあい、憎しみあい、殺しあうなんてことが起こる筈はない。</p>	

項目

内容

備考

(法)には四つの意味がある

- (1) ものごと、宇宙の一切のこと
- (2) 真理、ものごとの生と滅をとらえた真理
- (3) 教え、その時々正しい、ふさわしい教え
- (4) 喜びごとの実践、自利利他、自益益他

一鳩摩羅什はこれを「妙法」と翻訳した。これは最高の妙法である。

法

空しく一切の平等、

真理

正しい教え

自利利他

→ 妙法

3

## トインビー 歴史の研究⑦

(390-477)

2021.07.19

項目	内容	備考
第八篇 第1章 英雄時代 (390-	<p>1. 社会的堰堤 <i>yandi tam</i>            軍事的「リーメス(堤防、堰堤)」は、技術と力の巨犬<sup>は</sup>記念物であるが、不安定なものである。なぜなら、自然に対する反抗は、「<u>離れわざ</u>」であり、それを敢行すれば、人間はかならずそのむくいを受けねばならない。</p> <p>2. 利己性と利他性            この世において<u>自己を実現するものは</u>、利己性と利他性である。            (1) <u>利己性</u> - 宇宙を自分のまわりに体系づけようとする試みであり、生き抜くうえでの条件であり、その生命の現れである。            (2) <u>利他性</u> - 愛のこと、その代価が死である。宇宙から搾取するのではなくて、<u>献身する</u>という自己犠牲、自己献身である。  <u>人は、真の自己充足を得るには、利他性しかない。</u></p>	
	<p>3. 労働組合と人間</p> <p>賃上 — <u>競争力減</u> — 倒産 — 失業            賃金 UP            価格値上</p> <p>F社(職務脆弱、赤字)            賃上 — <u>ストライキ</u> — 倒産 — 失業            労働条件改訂</p>	
	<p style="text-align: center;">自由主義的企業</p> <p style="text-align: center;">自利、自己の貪欲 ————— 自己の死、利他            (貪欲は美德である) (規則性なき故の破滅)</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">社会主義的企業</p> <p>しかし、労働者は、企業に対して同じくらい激しく抵抗する。            (1) マルクスは雇用者を侮蔑し、労働者を理想視した。            (2) マルクス主義者は、雇用者の搾取を抑制し、社会主義の到来を予測した。</p>	

項目

内容

備考

- 7  
 ✕ (3)レーニンが、労働者に幻滅し、やがて彼らに圧力を加えた。  
 (4)マルクスが、当時の雇用者たちに加えた酷評は、そのまま今日の労働者たちに当てはまる。  
 (5)結局人間の本性は、雇用者も労働者も同じである。

人間の本性を正しく見極め、そこから変革の原理を確立して行かなければならない。従来の変革への試みは、人間自身への究明が不十分なままに、体制や機構の改革だけで社会を変革しようとしたところ、ある一面では成功を収めても、全体としてみれば失敗してきた根本原因があった。

#### 4. 独裁制

日本の徳川家康、漢の劉邦、ローマ帝国のアウグストゥスは、いずれも独裁者でした。

この三人は、彼等の前任者たちの創立した似たような体制が失敗したにも関わらず、いずれも永続的な独裁制の樹立に成功しました。

彼等の成功の因は、より大きな悪を避けるためにはやむを得ないと考える範囲内に、その独裁色を抑えたところにありました。

独裁制は、当時、社会的・政治的無秩序という、より大きな悪を前もって防ぐための、より小さな悪として選ばれたのです。(トインビー)

項目	内容	備考
第2章 圧力の増大 (394-		
第九篇 文明の空間的接触 第1章 研究領域の拡大 (409-	<p><u>1. 高等宗教の発生地</u>        すべては、文明の<u>交通の要衝</u>、<u>ロータリー</u>であった。        (1) ゾロアスター教・大乘仏教            インダス川流域・ガンジス川流域        (2) キリスト教            シリアのガリラヤ        (3) イスラム教            中央シリアで発生</p>	
第2章 同時代文明の遭遇 (412-		
第3章 同時代文明遭遇の結果 (456-	<p><u>高等宗教の発生地(仏教、キリスト教、回教など)は、すべて活発な文明の交流が行われた地域である。</u>        インダス川流域、紅海をふちどる中央シリア、この地域は、活発な文明と人の交流が行われたところである。世界史上の文明の数は、インダス文明と殷のシナ文明を加えると全部で23になる。</p>	
	<p>(1) 近代西欧文明とロシア      416        (2)      "      とヒンズー世界    426        (3)      "      と極東文明        (4) ゼロト主義とヘロデ主義</p>	

第 10 篇 文明の時間的接触	478
1. ルネサンスの概念	478
2. 歴史における法訓と自由	480
(1) 法訓の意味	480
(2) 人間生活の自然法訓への服従	488
(3) 近代の戦争と平和周期	490
(4) 文明の解体と成長	491
(5) 歴史における自然法訓	
3. 西欧文明の前途	516
(1) この探求の必要性	516
(2) 第三次世界大戦の可能性	519

2021.09.27

差出人: yamauchi masaki

送信日時: 2021 年 9 月 20 日 8:10

宛先: peijun zheng

件名: 经济学 (N020) 世界大萧条

1929 年 10 月 29 日上午，美国纽约证券交易所大厅内外，一片骚动混乱。商人们一个个脸色阴沉，忧心忡忡。当时钟的指针走到 10 时整，交易所正式开盘的铃声响了起来，得到的是一个令人恐怖的信息，股票暴跌！！于是，人们纷纷往来抛售，开盘半小时内，便有 300 万股票抛出来，收盘时，竟超过 1600 多万股。股票价格一落千丈，创美国历史上的最高纪录。

这就是，20 世纪 30 年代，资本主义世界大危机到来的信号。股票市产是一个晴雨表，资本主义经济状况乃至政治气候的变化，首先，从这里灵敏的反应起来。这是至今为止资本主义发展史上最严重，最深刻，涉及范围最广，持续时间最长的一次经济危机。即将这事前，欧洲各国从第一次战争后经济恢复，美国经济发展到，永久繁荣的梦话，全世界黄金贮备的一半掌握在手中。

美国的估计损失达 2500 亿美元，比第一世界大战的直接战费还要多 200 亿美元。美国和德国受到的打击更为严重，美国破产企业超过 14 万家，德国破产的企业超过 6 万家，世界贸易总额减少三分之一，1932 年，美国失业人口 1370 万，德国 560 万，英国 280 万。  
2021 年 9 月 20 号

iPad から送信

差出人: yamauchi masaki

送信日時: 2021 年 9 月 21 日 6:20

宛先: peijun zheng

件名: 经济学 (N21) 蝴蝶效应 🦋

南美洲亚马孙河流域一只蝴蝶，偶尔煽动几次翅膀，两周后，美国得克萨斯州就会起一场卷风。这就是气象学家洛伦兹，1963 年提出的“蝴蝶效应”。

1963 年，洛伦兹在提高长期天气预报的准确性的实验中发现了，计算上的误差会指数形式增长，即使是非常微小的一个误差，随着不断推移也会造成巨大的后果。于是他得出结论，事物发展的结果，对初始条具有极为敏感的依赖性——初始条件的极少偏差，将会引起结果的几大差异。

1979 年 12 月，洛伦兹在美国科学促进会上一次讲演中提出，“蝴蝶效应”。其原因在于，蝴蝶翅膀的运动，其空气系统变化，引起微弱的气流的产生，由此引起连锁反应，最终导致其他系统的几大变化。一件很小的事情和一件很大的事情，表面上，看似完全不相关，但是事实上，却有着紧密的联系。

(洛伦兹的微分方程式)

$$dx/dt = -px + py$$

$$dy/dt = -xz + rx - y$$

$$dz/dt = xy - bz$$

我想，“蝴蝶效应”是很有名的故事，若，“克利奥巴特拉”的鼻子长一时，或短一时，世界或许就会不一样”。  
2021 年 9 月 21 号

iPad から送信

# 克麗奧佩脫拉七世



差出人: yamauchi masaki

送信日時: 2021 年 9 月 24 日 8:19

宛先: peijun zheng

件名: 经济学 (N022) 两大门派 “微视”于“宏视”

1、“微视经济学”是微视的行为，也就是一个消费者，一个厂商，一个市场是如何行为的，如果出了问题怎么办。

单个市场的经济为研究，分析对象，如何将有限的资源分配，各种商品的生产上已取得最大的利润，最大的满足。

研究了两大市场及消费品市场和生产要素市场的问题。

2、“宏观经济学”关处的则是一个国家，甚至全世界经济是如何运行的，如果出了问题怎么办。

(1) “通货膨胀”即价格的继续上涨，严重影响到人们生活，解解帮法等问题。

(2) “失业问题”，如果事业过多，形势影响经济发展，通过何种手段能过促进就业。

(3) “经济增长”，速度，规模，模式等问题。

(4) “购机收支问题”，研究开放形式下，国际贸易往来及资本流动的问题。

3、“微视”和“宏视”和“尿布”。

有一家，原本雨伞的小企业，过着靠天吃饭的日子。

一天，公司的总经理在看报纸时，偶然看到一份最近的人口普查报告，每年有 250 万婴儿出生。

总经理灵机一动，“如果有这么多婴儿出生”，那么，尿布一定有着巨大的潜在市场，如果每个婴儿每天最低消费 2 条，那么一年至少就 500 万条，这无疑是巨大的商机。

这样的商品当时没有市场上的竞争，于是他立即决定砖面生产尿布。

严抓质量，创建品牌，几年之后，该公司生产的尿布畅销全国，走销世界，

如今该公司的尿布销量已世界的  $1/3$ ，他成为享有世界的“尿布大王”。

2021 年 9 月 24 号

iPad から送信

差出人: yamauchi masaki

送信日時: 2021 年 9 月 26 日 21:23

宛先: peijun zheng

件名: 经济学 (N023) 第一章 (汤因比) 历史思想的相对性

无论在任何时代, 任何社会, 历史研究都同其他社会活动一样, 收到在特定的时间和地点, 占据主导的地位的思想倾向的控制。

我们这个时代, 一种是工业化经济体制, 另一种是民主的, 几乎同样复杂的政治体制。这两种制度, 一种经济制度, 一种政治制度。上个世纪末叶西方世界取得了至高无上的地位。其原因, 在于它们一时有为那个时代的主要难题暂时解决方案。我们虽不是这两种制度的创造者, 确实在它们的影响下成长起来的。

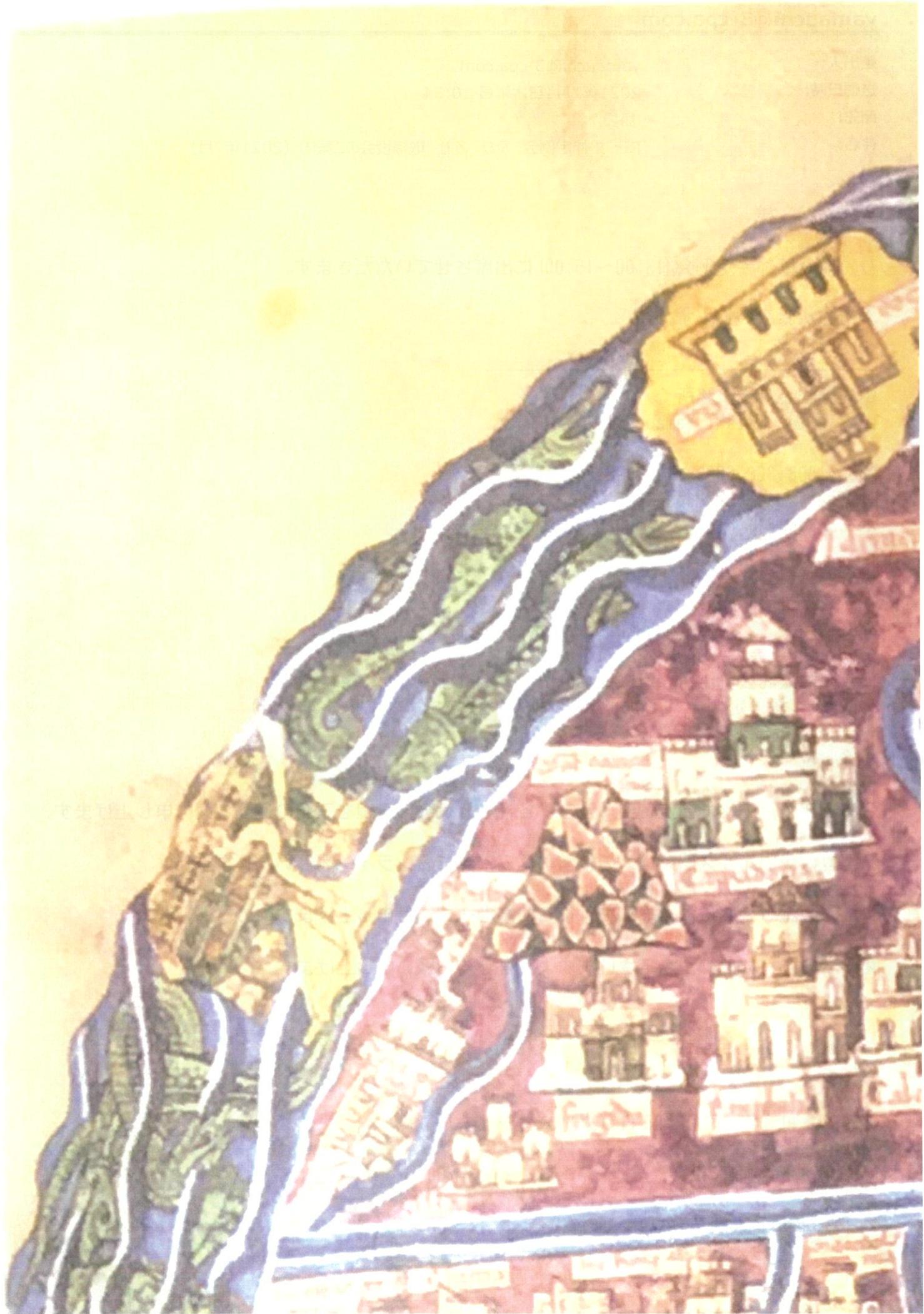
希腊文明为一个连续发展的模式提供了证据, 因此这位基督教修行者看上去像是从希腊的石柱上出来似的, 与之有联系的基督教文明已经呱呱落地的象征。

相反, 中国式却以统一和分裂, 有序和失序, 进步和衰落轮流交替的模式为标志。中国哲学家们正在研究体现这种螺旋运动的阴阳图, 阳等于活力和主动, 阴象征惯性和被动。

历史学家的任务是把这种希腊与中国模式结合起来, 创造一个适用于其他文明历史的显示模式。

2021 年 9 月 26 号

iPad から送信



差出人: yamauchi masaki

送信日時: 2021 年 9 月 24 日 20:21

宛先: peijun zheng

件名: 经济学 (N024) 经济增长是什么概念?

可是就像一个企业不可能永远处于高峰一样, 一个国家也不可能永远是先增长, 必有经济衰退。

但是, 萧条并不可怕, 很多企业正是在萧条中成长起来的。增长与衰退联系起来看, 就是一个动态过程, 就是经济周期。

有个企业, “冬天的冰淇淋哲学”, 在萧条时, 能够生存下来, 经济复苏的时候, 也会迅速发展壮大。

“复活—增长—衰退—萧条”

这是经济周期, 有些经济学家从外因角度分析。

#### (1) 太阳黑子理论

太阳黑子的周期变化会影响气候的周期变化, 而只有会影响农业收成, 给影响整个经济。经济周期大约也是没十年一次。

#### (2) 战争

#### (3) 革命

#### (4) 选举

#### (5) 新资源发现

#### (6) 科学突破

#### (7) 技术创新理论

奥地利经济学家, J.熊波特特出用以解释经济波动与发展的一个概念。

所谓创新是指生产要素的一种新“组合”。

新组合的出现刺激经济的发展与繁荣, 更高增长。

#### (8) 政治性周期理论

政府的周期性决策。比如一国的货币政策, 投资环境, 消费量, 心里预测等等。

2021 年 9 月 24 号

差出人: yamauchi masaki

送信日時: 2021 年 9 月 27 日 5:28

宛先: peijun zheng

件名: 经济学 (N025) 国际贸易, 妙处知多少

世界贸易泛指国际间的商品和劳务的交换。

这因为各国的成本（再聊，劳动量，经费等）有差异。所以各国商品交换有效益。

贸易产品丰富了，我们的生活让享受到了，来自世界各地的产品。

印象国际贸易的因素有很多，比如，对于进口来说，

- (1) 买方的经济增长说，经济发展买力增强，自然进口就更多。
- (2) 卖方的成本过高，定价过高，那么买房宁可不进口，自己生产该种商品了。
- (3) 汇率升值，意味着钱更值钱，那么升值的一方倾向于更多的进口。

对于参与国际贸易的企业来说，质量和信誉是至关重要的。

一个细小的错误，将带来巨大的经济风险。

2021 年 9 月 27 号

iPad から送信

差出人: yamauchi masaki

送信日時: 2021 年 9 月 27 日 5:55

宛先: peijun zheng

件名: 经济学 (N026) 通货膨胀, 侵蚀你的财富

- (1) 整体的物价水平上涨
- (2) 持续的价格上涨
- (3) 通货膨胀使得居民生活巨大的影响
- (4) 债务人和债权人之间, 通货膨胀将有利于, 债务人而不立为债权人
- (5) 雇主与工人之间, 将有利于雇主而不利于工人
- (6) 有利于政府而不利于公众

需求拉上通货膨胀是太多的货币逐太少的货物。

货币发行量超过商品流动中的实际需要的货币量而引起的纸币贬值, 物价上涨的现象。

这就是说, 通货膨胀本质是由于钱太多了而导致的。

2021 年 9 月 27 号

iPad から送信

## 囚徒困境



### ① 两名罪犯被捕

有两名罪犯A、B同时被捕，但无法证明共同犯罪。这时，在两名共犯无法串通的情况下，根据“坦白从宽，抗拒从严”的原则告知双方只要招出共犯，对方被判7年，则自己无罪释放；如果双方都招，则双方都是5年徒刑。而实际如果两人不招供，证据不足，就只能都判2年。



### ② A和B的困境

		B的困扰	
		抗拒	坦白
A的困扰	坦白	A 无罪释放 B 被判7年	A 被判5年 B 被判5年
	抗拒	A 被判2年 B 被判2年	A 被判7年 B 无罪释放



### ③ A的选择

对A来说，如果认为对方坦白，则自己招供就判5年刑，抗拒就是7年；如果认为B抗拒，则自己坦白就会无罪，抗拒就是2年徒刑。所以说对A来说，坦白比抗拒有利。



### ④ 结果

为了自己的利益，A、B明知道同时抗拒是最好的选择（只判2年），但是出于对对方的不信任，A、B都会坦白，最终同时被判5年。